

第 21 回 町民ソフトバレーボール大会

令和 6 年 2 月 25 日(日) 第 21 回小久慈町民ソフトバレーボール大会が行われました。
 昨年同様参加者は少人数でしたが、若者からベテランまで幅広い年齢層の参加者は、和気あいあい試合は大いに盛り上がりました。その存在を感じるだけで楽しい大活躍のセンター長をはじめ、大会参加者に改めて感謝いたします。

そんな中、今年も気になる存在の女性(中村係長)が現れました。スポーツの本職はいま大人気のバスケットボールだそうですが、ソフトバレーセンスも抜群、時折見える全日本選手並みの華麗な動き、持って生まれた才能とはいえうらやましい限りで、来年もぜひ観戦したい。
 少子高齢化・人口減少、非接触型社会など、自分以外の人間と容易に触れ合う機会がどんどん減ってきている中、小久慈町民ソフトバレーボール大会がその歯止めの一助となるよう来年も継続したいと決意しました。(運営担当:カトレア)



小久慈・夏井・長内ユニカール交流会 3月8日

小久慈市民センターで、小久慈・夏井・長内3地区によるユニカール交流会が開催されました。
 小久慈地区では毎年、冬場の運動不足解消を目的にユニカール教室を実施しており、今年は1月末～3月8日迄の毎週金曜日にユニカール教室を7回開催、3月8日の最終回には夏井と初参加の長内からユニカール愛好者が集い交流会を行ないました。

チーム編成は交流を目的に3地区混合とし、一般9チーム、ジュニア12チームの計21チーム71人の参加者でプレーを楽しみ交流も深めました。
 普段練習していない初参加の市民センターチームも見事1勝を上げました。
 「楽しかった」、「パークゴルフ」などでも交流出来ればとの声もありました。



通学路の環境整備作業



伐採作業の成田晃彦さん(左) 中戸鎮征夫さん(右)

小久慈まちづくり協議会が健全育成会や市民センターと協力し、子どもたちの安全を願い、小久慈小学校前の県道沿いの環境整備を行いました。

通学路や横断歩道付近の視界を遮る立木を伐採、太いものは直径 50 cm もある大木など約 10 本の伐採や周辺の草刈り等も行ないました。

通学路の見通しが良くなり、子どもたちが安全に通学でき、また、車からの視界も良くなるよう7、11、12月の3回にわたり環境整備を実施しました。

桜ウォーキング 参加者募集

春の日差しになってきましたね。
 桜マップを思い出しながら参加しませんか。

日時 4月21日(日) 8:50 集合 9:00 出発
 申し込み 4月18日(木)迄に小久慈市民センター(電話 59-3051)
 集合場所 小久慈市民センターとしますが、①～③のうち好きな場所から参加できます。申込時にどこから参加するかお伝えください。
 持ち物等 暖かく動きやすい服装・歩きやすい靴。飲み物。(雨具)
 その他 雨天中止(小雨決行)

- ★ウォーキングコース
- ① 小久慈市民センター 9:00 出発
 - ② 小久慈橋 9:45 頃
 - ③ 堀内橋 10:15 頃
 - ④ 白山浄水場
 - ⑤ 滝ダム ※見晴らし良好
 - ⑥ 岩瀬張公民館
 - ⑦ 下日当公民館
 - ⑧ 小久慈市民センター 12:30 予定



小久慈 まちづくり通信

第 87 号
 令和 6 年 4 月 1 日
 小久慈まちづくり協議会広報委員会
 小久慈市小久慈町 21-47-14
 小久慈市民センター
 電話 59-3051

令和 6 年度の「三大事業」は !!

- 小久慈地区敬老会 (久慈グランドホテル 9月7日(土))
- 第 52 回小久慈町民文化祭 10月27日(日)
- 小久慈スマイルイルミネーション点灯式 12月5日(木)

● まちづくり協議会の「ふるさと未来づくり事業」への取組みについて (2頁～)
 平成 28 年度から小久慈の活動を指導して見て来た、広田教授より「小久慈は今のやり方でやれば良い」と話され、参加した約 50 名の皆さんは安心し、自信も持ちました。
 小久慈では「皆で話し合い計画し、皆で実行し、皆で振り返る」「振り返りを基に次の計画を話し合う」事を基本にしています。

※ 興味のあるチームに参加しませんか。5チームあります。
 ※ 地域の為(防災も)に「何かして見ませんか」。
 まちづくり協議会も協力、支援します

○小久慈まちづくり協議会
 事務局長 八屋 勉 090-7061-7092
 ○小久慈市民センター 電話 59-3051

募金しました
能登半島地震災害義援金募金
 10,000 円
 日本赤十字社(久慈市社会福祉課内)
 1月12日届けました。
 ※ 募金は小久慈市民センターや市役所にも募金箱が設置されています。

支援しました
長内中学校野球クラブ
 全日本少年春季軟式野球大会出場
 10,000 円
 1月26日支援金を贈りました。
 全国大会での活躍を期待します。
 (静岡県 3月23日～28日開催)

ふるさと未来づくり事業

「全体チーム会議」を行いました

1. 「ふるさと未来づくり事業」

小久慈まちづくり協議会の「ふるさと未来づくり事業」は、「朝市チーム」「小久慈焼チーム」「カフェチーム」「桜チーム」、令和2年から「じゅうねチーム」も結成され、現在5チームで活動しています。コロナ禍で4年間3大事業（敬老会、運動会、文化祭）は実施できませんでしたが、未来づくり事業は休む事なく活動してきた、小久慈まちづくり協議会の中心的活動です。

2. 全体チーム会議 3月7日（木）18:00～

未来づくり事業5チームの「活動の振り返り」「来年度の計画」を話し合い、全体で共有するため、毎年3月に「全体チーム会議」を開催しており、当日はみらいづくり事業を指導いただいている「広田岩手大学名誉教授」にも出席頂き、2会場に分かれ「活動の振り返り」「来年度の活動」について、チーム毎に約1時間話し合い、結果発表を行いました。

3. 各チームの発表（紙面の都合で令和6年度に向けた主な活動目標のみ記載）

●「桜チーム」

- (1) 「桜ウォーキングを4月21日（日）に行います。大勢参加して下さい。
- (2) 小久慈の桜の樹皮を使って「桜染め教室」を行い、作品を文化祭にも展示します。



チーム発表

●「小久慈朝市チーム」

- (1) 「わくわく朝市」として従来どおり実施したい。
- (2) イベントとしては「スイカ割り」「久慈東高校シクラメン」「十文字チキンカンパニー出店」等工夫したい。
- (3) 朝市の出店者訪問はチームで手分けし、よりスムーズに出来ないかを検討していく。

●「カフェチーム」

- (1) 小久慈朝市に5回出店し、夏季にはアイスコーヒーの販売も行いたい。
- (2) 朝市でコーヒーをゆっくり味わう時間があると良い、イベントなどの工夫で来客の滞在時間を長く。
- (3) 5年出店の夏井「川代かぼちゃ祭」など、他地区のイベントにも出店してみたいので紹介して下さい。

●「小久慈焼チーム」

- (1) 観光客に気持ち良く来て貰うため、年3回（5月連休前・お盆前・10月末）小久慈焼陶芸苑駐車場等の草刈り、草取り等の「環境整理」を行います。
- (2) 「陶芸教室」を行い、それぞれの作品を「町民文化祭・生涯学習の集い」等にも出展する。
- (3) 子供陶芸教室も考えた方が良くと思う。朝市で「教室」のチラシを配った方が良い。

●「じゅうねチーム」

- (1) 6年度の栽培は「播種時期を遅く」又「時期をズラす」等の工夫をしたい。（5年度は5月の低温で発芽が悪く、播種を3回した。早く蒔き過ぎた。土も被せない方が良い。）
- (2) エゴマのレシビがあると購入しやすくなる。
- (3) 2月27日の大雪でハウスが潰された。骨組みは目途が立ったが、ビニールが見つからない。何方か提供してくれませんか。
- (4) 6年度は是非収穫祭を実施し交流しましょう。



感想を話す広田教授

4. 広田教授の感想

- (1) 各チーム楽しそうに話し合われ、良い感じでした。
- (2) 地域の仲間を創るコツは「チームに入って貰う」のでは抵抗感がある。既に固まっているので入れない。
- (3) 「若い人がやりたい事を好きな様にやってもらう」（地域の事を）

【右下へ続く】

小久慈まちづくり協議会女性部

手打ちうどん・くるみおこわ作り

体験道場

2月10日（土）に、小久慈市民センターにおいて女性部の後期事業として「手打ちうどん・くるみおこわ作り体験道場」が行われました。

小久慈朝市に出店している日沢志奈子さんを講師に迎え、20名が参加しました。志奈子さんから手順を説明いただいた後、まずは、手打ちうどんに挑戦。材料を混ぜてこねた後、皆で代わるがわる足で踏みました。

柔らかな感触の心地よさ、おいしくなあれの気持ちもこもり、会話も弾みました。うどん生地を寝かせている間におこわ作り。味の決め手は、黒砂糖としょうゆでした。その後は再びうどん作りの最終段階、生地を伸ばして切ってゆでました。

最後は、志奈子さんが差し入れてくださったワカメで彩りも鮮やかなうどんとクルミとゴマをふりかけたおこわで試食会。

「楽しかった」、「おいしかった」、「またやりたい」の感想で幕を閉じました。



講師の志奈子さん(左)と試食「あぁーおいしかった」

ふるさと未来づくり事業 桜チーム

サクラ染を楽しむ会を実施!!

3月6日（水）にふるさと未来づくり事業桜チームで『サクラ染を楽しむ会』を行いました。町民20人が参加し、桜の枝を煮出して染める桜染めを体験しました。

この日は、講師の中田悦子さんから準備していただいた桜模様のシルクのストールを染めました。桜の枝とチップを1回2回と煮出した染液を使い、30分程生地を染めていきます。

琥珀色した染液から、ベージュがかった色合いだったりほのかなピンク色だったり、それぞれが違ってみんないい感じに染まりました。

企画したチームリーダーの奥寺さんは、「中田さんに依頼した試作品を、昨年秋の町民文化祭で展示し宣伝していたことで、今回多くの方に桜染めを体験してもらうことができた。チームメンバーも皆さんに喜んでもらい自信になった。」と感慨深げでした。



染めたスカーフを首に満足げな参加者

- (4) チームと言わずに「若い人達にまち協が協力するヨ、何かして見ない？」焦らなくでも良い。
- (5) 山奥の「ポツンと一軒家」でも幸せに暮らしている。「住んでいるのは一人だが、関わりを持っている人が居る」事が重要。
- (6) 人との繋がりを創れば人口減少も怖くない。
- (7) 小久慈は今のやり方でやれば良い!